



# 依存症と責任

講師… 小林 桜児  
こばやし おうじ

(神奈川県立精神医療センター 医療局長)

演題… 依存症は自己責任の病なのか？—精神病理と回復過程を検証する

講師… 佐々木 拓  
ささき たく

(金沢大学人間社会研究域人間科学系 准教授)

演題… 第三者による非難は適切でありうるか…薬物依存症の事例

討論者… 藤城 聡  
ふじしろ そう  
(愛知県精神保健福祉センター 所長)

司会… 森山 花鈴  
もりやま かりん  
(南山大学社会倫理研究所 准教授)

主催… 南山大学社会倫理研究所 (科研費19H01189 共催)

日時： 2020年6月27日(土)  
14:00~17:30

開催形式：オンライン (Zoomミーティングを使用)

事前申込制 (定員20名)

社倫研Webページよりお申し込みください

有名人の逮捕など、メディアで依存症について報道を見聞きする機会は多い。依存症は限られた個人にだけ起こる特異な問題だと感じる人も少なくないだろう。そして、依存症に対しては、あってはならないものとして厳しい目が向けられがちである。しかし、果たして私たちは依存症に対して適切な理解をしているだろうか。たとえば、日本では、依存症について自己責任論で語られる傾向があるが、依存症は、意志が強いのか弱いかという要因に尽きるのだろうか。

本懇話会では、精神科医として依存症の臨床現場に携わる小林桜児先生、そして、倫理的な観点から依存症の研究を続けている佐々木拓先生をお招きして参加者の皆さんと議論していきたい。

